marantz®

Tuner

ST6003

取扱説明書

マランツのチューナーをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

付属品の確認

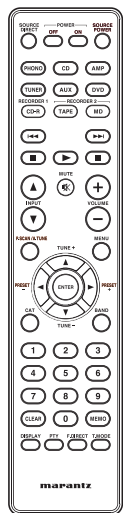
ご使用の前に下記の付属品がそろっていることを確認してください。

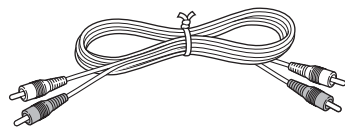
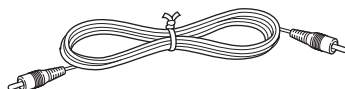
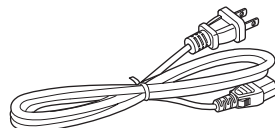
- リモコン......1個

- 単4乾電池......2個

- オーディオ接続コード......1組

- リモコン接続コード......1本

- AMループアンテナ......1個

- FM室内アンテナ......1個

- FMアンテナアダプター......1個

- AC電源コード......1本

- 取扱説明書（本書）......1冊

- 保証書（箱に貼付）......1枚

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。電源周波数は 50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。

  この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。

  この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。

  テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

警　告

- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- エアコンの下に置かないでください。エアコンから水滴が滴下した場合、汚損・故障・火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解禁止

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス＋とマイナス－の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜたり、種類の違う電池を混ぜたりして使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁し、各地の地方自治体の指示（条例）に従って火気のない場所に処分してください。
- 電池はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診断を受けて下さい。

電源プラグをコンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動のある所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- この機器または電池が入ったリモコンを次のような異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

  窓を閉めきった自動車の中

  直射日光が当たる場所

  火や暖房器具など熱を発生する機器の近く
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

注　意

- この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス＋端子とマイナス−端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 5 年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。電池が液もれしている場合は、ただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷するおそれがありますので、取扱いには十分ご注意ください。誤って液が付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。

  ケース内に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

TU_080311F1

本機の特長

50 局のプリセット機能

AM · FM 合わせて 50 局をプリセットすることができます。

ステーションネーム機能（最大 10 文字）

プリセットした放送局にアルファベット、数字、記号で 10 文字までお好きな名前をつけることができます。

スリープタイマー

一定時間を経過すると自動的に電源がオフにするスリープ機能を搭載しています。おやすみ時などに便利です。10 分〜120 分の間で 10 分間隔で選ぶことができます。

ディスプレイディマー

表示部の明るさを調整または消灯できます。

ワイヤレスリモコン付属

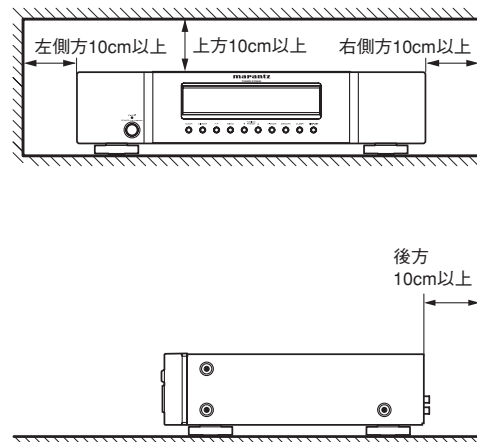
ワイヤレスリモコンを標準で付属しています。
また本機は 3 組のリモコンコードを内蔵しており、1 台ずつ別々のリモコンコードに設定しておくことにより、本機 3 台を 1 箇所で各々独立してコントロールすることができます。

ご使用の前に

次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所

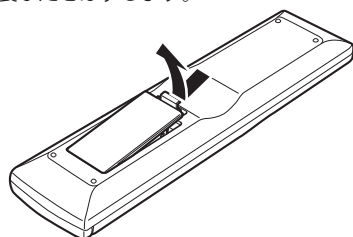
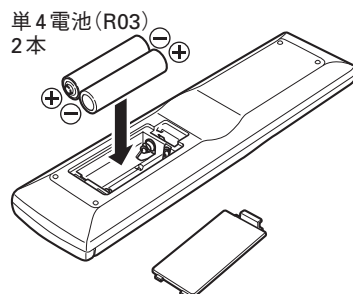
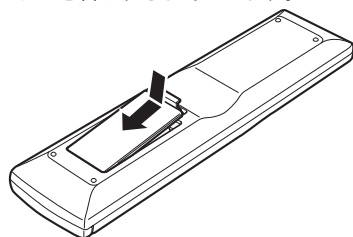
放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。

ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域または60Hz 地域でご使用できます。

リモコンの使用について

リモコンに乾電池を入れる

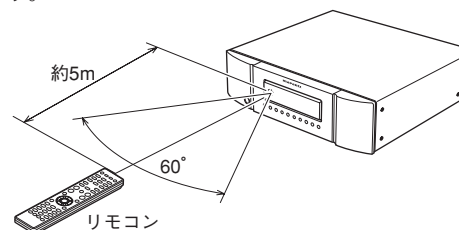
最初に付属のリモコンをご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。
付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

1. 裏ぶたをはずします。

2. 電池の⊕⊖を正しく入れます。

3. カチッと音がするまでしめます。

乾電池の取り扱い方について

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

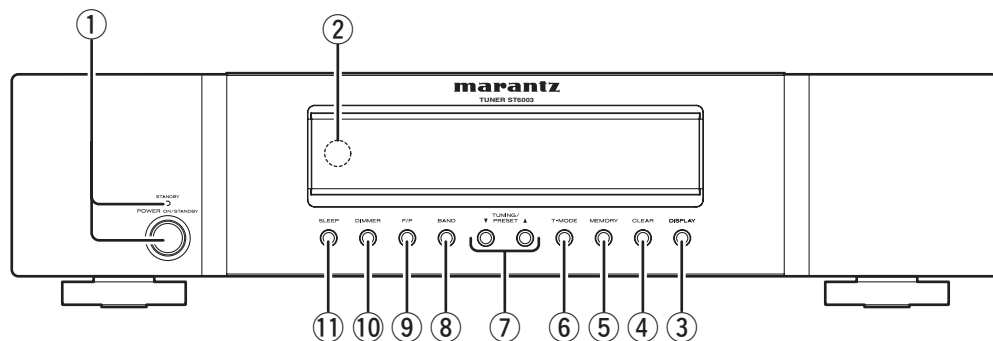
- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの使用できる範囲

リモコンと本機の操作可能範囲は下図のとおりです。

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称

前面

① POWER ON（主電源オン）／STANDBY（スタンバイ）ボタン

本機の電源をオン、またはスタンバイ（待機）するときに押します。
このボタンを押すと表示部が点灯し、電源が入ります。
もう一度押すと電源が切れて、STANDBY インジケーターが点灯します。

STANDBY（スタンバイ）インジケーター

本機がスタンバイ状態のときに赤く点灯します。

② リモコン受光部

リモコンからの赤外線信号を受信します。リモコン操作するときは、リモコンをこの受光部へ向けます。

③ DISPLAY（ディスプレイ）ボタン

プリセットモード時、表示内容を変更したいときに押します。

④ CLEAR（クリア）ボタン

プリセットメモリーの設定、またはプリセット･スキャン・チューニングをキャンセルするときに押します。

⑤ MEMORY（メモリー）ボタン

プリセットメモリーの番号または放送局名を入力するときに押します。

⑥ T-MODE（T- モード）ボタン

FM 放送受信時、オートステレオ・モードまたはモノラル・モードを選択するときに押します。
オートステレオ・モードのとき、表示部に AUTO 表示が点灯します。

⑦ TUNING/PRESET（チューニング / プリセット）▲/▼ ボタン

放送局をチューニングモードまたはプリセットモードでサーチするときに押します。

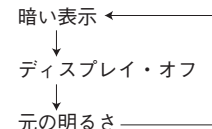
⑧ BAND（バンド）ボタン

FM と AM を切り替えるときに押します。

⑨ F/P（周波数 / プリセット表示切り替え）ボタン

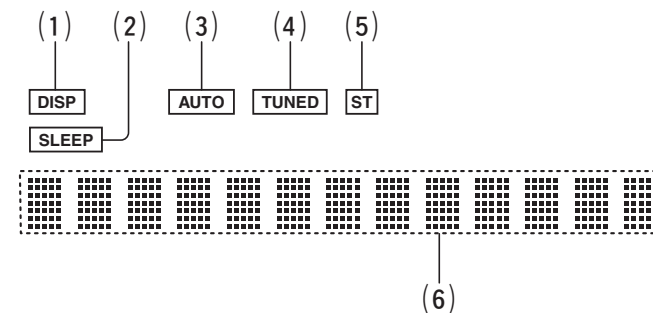
周波数チューニングモードとプリセットチューニングモードを切り替えるときに押します。

⑩ DIMMER（ディマー）ボタン

このボタンを押す毎に、表示部の明るさが下記の様に切り替わります。

ディスプレイ・オフ状態のとき、表示部に DISP 表示（ディスプレイ・オフ）が点灯します。

⑪ SLEEP（スリープ）ボタン

スリープタイマー機能を使うときに押します。押すたびに設定時間が切り替わります。

FL ディスプレイ

(1) DISP（ディスプレー OFF）表示

表示部が消灯（ディスプレイオフ）状態のときに点灯します。

(2) SLEEP（スリープタイマー）表示

スリープタイマー機能を使用しているときに点灯します。

(3) AUTO（オート）表示

チューナーがオートステレオモードのときに点灯します。

(4) TUNED（チューンド）表示

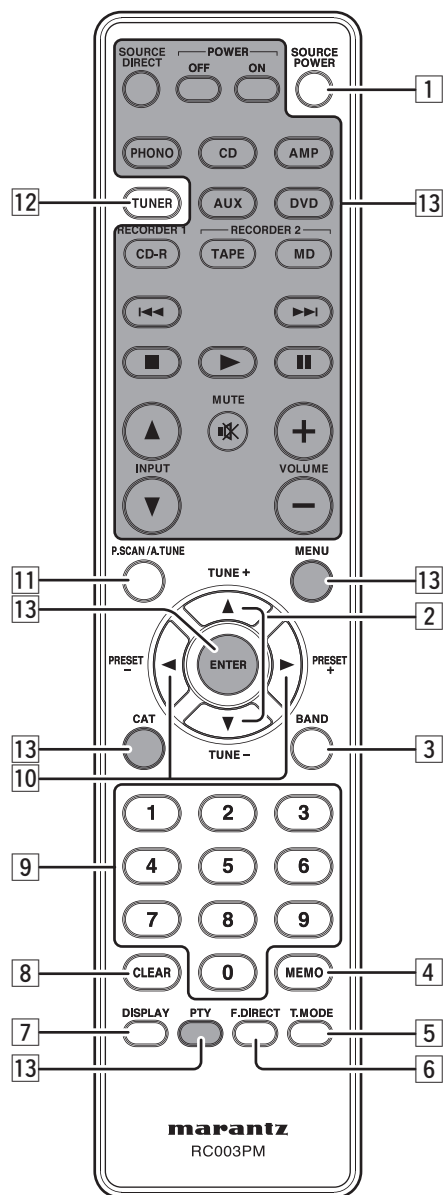
放送の信号を十分な信号強度で受信しているときに点灯します。

(5) STEREO（ステレオ）表示

FM 放送をステレオで受信しているときに点灯します。

(6) メイン表示部

周波数、プリセット、ステーション名など、各モードにあわせた情報が表示されます。

リモコン

本機に付属のシステムリモコンはチューナーのコントロールが行えるだけではなく、マランツのアンプや CD などの機器もコントロールできます。
チューナーをコントロールする場合は必ず TUNER ボタンを押して、リモコンをチューナーモードにしてから使用してください。
マランツのアンプや CD などの機器をコントロールする場合は、15 ページを参考にして下さい。

1 SOURCE POWER(ソース電源)ボタン

TUNER ボタンを押してリモコンをチューナーモードしてから、このボタンを押すと、本機の電源をオンまたはスタンバイ(待機)にします。

2 TUNE +−ボタン

受信周波数を調整するときにするときに押します。

3 BAND ボタン

FM、AM バンドを切り替えるときに押します。

4 MEMO ボタン

プリセットメモリを記憶させるときに押します。

5 T.MODE ボタン

FM 放送を受信時に、オートステレオ・モードまたはモノ・モードを選択するときに押します。
オートステレオ・モードのとき、表示部に AUTO 表示が点灯します。

6 F.DIRECT ボタン

周波数を直接数値入力したいときに押します。

7 DISPLAY ボタン

プリセットモード時の表示モードを変更するときに押します。

8 CLEAR ボタン

メモリまたはプログラムをクリアするときに押します。

9 0-9 ボタン

放送局の受信周波数を数を直接数値入力するとき、もしくはプリセットチャンネルナンバーを入力するときに押します。

10 PRESET +−ボタン

プリセットメモリーされたチャンネルを選択するときに押します。

11 P.SCAN/A.TUNE ボタン

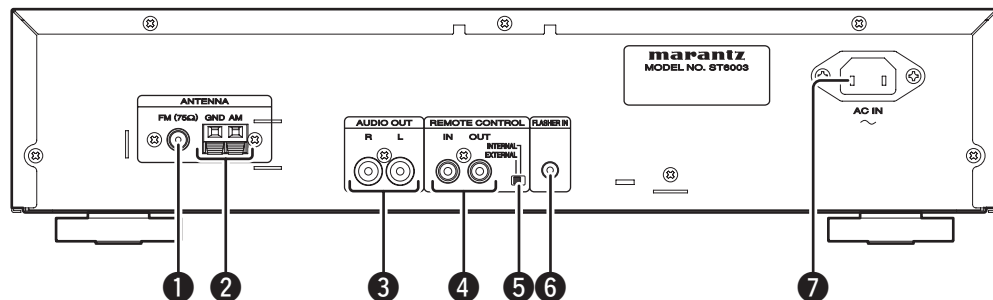
プリセットスキャンをスタートするときに押します。

12 TUNER ボタン

リモコンをチューナーモードにするときに押します。

13 チューナーのコントロールには使用しません。

各部の名称

背面

❶ FM アンテナ端子（75 Ω）

付属の FM アンテナケーブルを接続します。
放送の信号を十分な強度で受信できないとき、同軸ケーブルを使用して市販の FM アンテナ、またはケーブル TV などの FM ネットワークソースに接続してください。

❷ AM アンテナ入力端子およびアース端子

付属の AM ループアンテナを接続します。
受信感度が最良になる位置にループアンテナを置いてください。

❸ AUDIO OUT（アナログ出力）端子

音声信号が出力される端子です。

❹ REMOTE CONTROL IN/OUT 端子

リモコン端子を搭載したマランツ製機器と本機を接続する端子です。
この接続をすることによって、AV アンプやその他のアンプ系コンポーネントを中心としたシステムコントロールが付属のリモコンで可能になります。

❺ EXTERNAL/INTERNAL スイッチ

リモコン端子を搭載したマランツ製機器と本機を接続したとき、付属のリモコン操作を切り替えるスイッチです。
マランツ製機器のリモコン端子と本機のリモコン端子を接続したとき、このスイッチを EXTERNAL に設定してください。
工場出荷時は、このスイッチは INTERNAL に設定されており、本機のリモコン受光部が有効になっています。

ご注意

本機を単体で使用する場合、このスイッチを EXTERNAL に設定していると、本機のリモコン受光部が無効になり、リモコンから信号を受信できません。

❻ FLASHER IN（フラッシャーイン）端子

本機を外部から操作するための端子です。
本機単体では使用しません。

❼ AC インレット

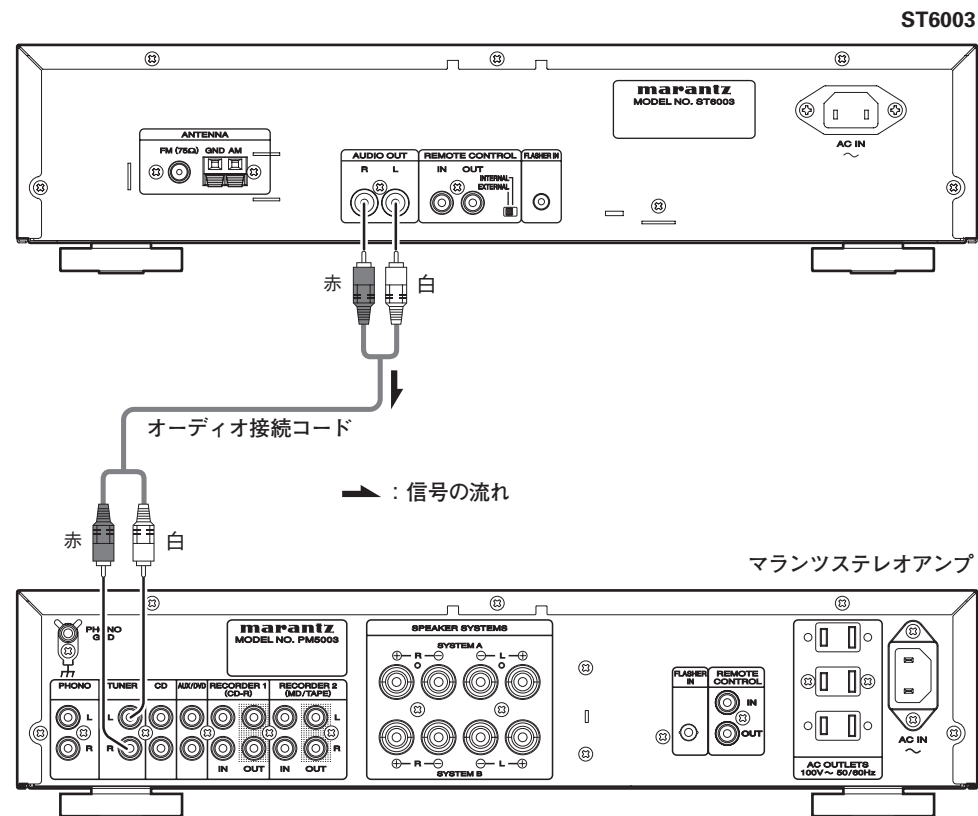
付属の AC 電源コードを差し込む端子です。
本機で使用できる電源は AC 100V のみです。

基本接続

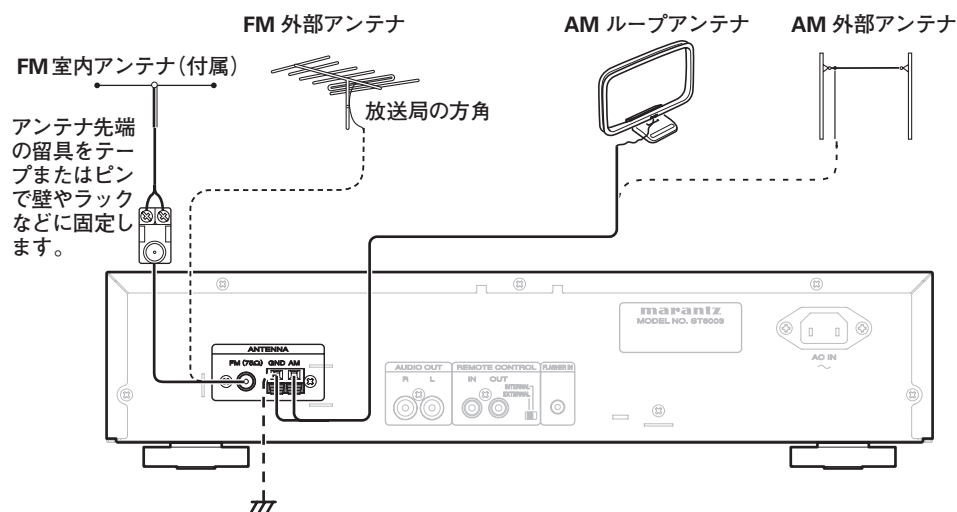
アンプの接続

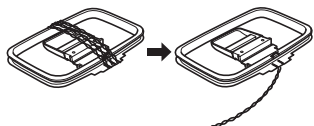
オーディオ接続コードを用いて本機をステレオアンプや AV アンプに接続します。

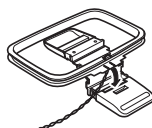
ご注意

- 本機をアンプの PHONO 入力端子に接続しないでください。
- 接続を行う際は、しっかりとプラグを端子に挿入してください。プラグをしっかり挿入しないとノイズが発生することがあります。

ご注意

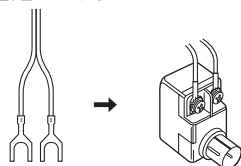
- すべての接続が完了するまで電源コードを電源コンセントに差し込まないでください。
- 接続を行う際は他のコンポーネントの取扱説明書も併せてご覧ください。
- 左右のチャンネルを正しく接続してください。（左と左、右と右）
- オーディオ接続コードと電源コードを一緒に束ねたり、変圧器の近くに置くとハムなどの雑音が発生することがあります。

アンテナの接続

AM ループアンテナの組み立て

1. 接続線を取り出します。

2. 台座部分を反対側に折り曲げます。

3. ループの底にあるフックを台座部分の溝に入れます。

4. 安定した面にアンテナを設置します。

FM アンテナアダプターとケーブルの取り付け

ドライバーを使ってネジをゆるめ、ケーブル端子を取り付けます。取り付け後ネジを締めアダプターとケーブルを固定します。

付属アンテナの接続

付属 FM アンテナの接続

付属 FM アンテナは室内で使用してください。
使用時は、アンテナを伸ばしてクリアに受信できるまで様々な方向に移動させてください。
雑音が最も少ない場所に押しピンなどを使ってアンテナを固定します。
受信状態が悪い場合は、屋外アンテナを設置すると受信状態が良くなることがあります。

付属 AM ループアンテナの接続

付属の AM ループアンテナは室内で使用してください。
クリアに受信できる方向および位置にアンテナを設置します。
本機、TV、スピーカー、電源コードからできるだけ離して置いてください。
受信状態が悪い場合は、屋外アンテナを取り付けると受信状態が良くなることがあります。

1. AM アンテナ端子のレバーを押下げます。
2. 裸線をアンテナ端子に差し込みます。
3. レバーを離します。

ご注意

- シールド線の GND 線（黒）を AM アンテナ端子の GND 側に接続します。

FM 屋外アンテナの接続

- アンテナはノイズ源（ネオンサイン、交通量の多い道路など）から離して設置してください。
- アンテナを送電線や変圧器などから離して設置してください。
- 落雷や感電を防ぐため、必ず接地を行ってください。
- 75 Ω の同軸ケーブルを使用して屋外アンテナを接続する場合は市販のアンテナアダプタを使用してください。

AM 屋外アンテナの接続

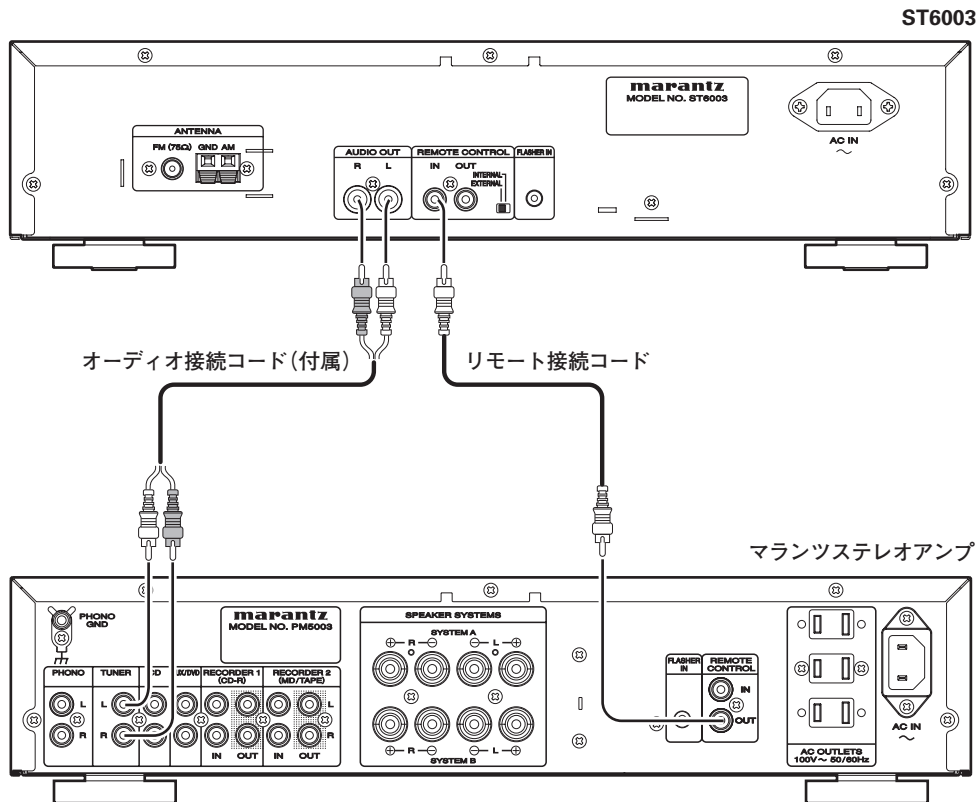
- AM ループアンテナは取り外さないでください。AM 屋外アンテナを接続する場合、AM ループアンテナも同時に接続してください。
- 落雷や感電を防ぐため、必ず接地を行ってください。

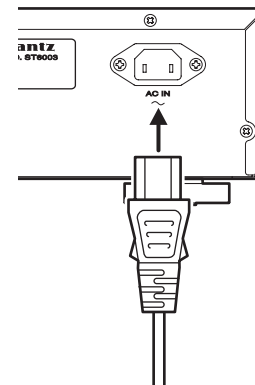
基本接続

リモートコントロール接続

出力およびリモートバス端子を付属しているコードでアンプのそれぞれの端子に接続します。

ご注意

アンプの電源は切っておきます。

電源コードの接続

1. 付属のAC電源コードを本機の背面のACインレットに差し込んでください。

2. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

万一の事故のため、本機からAC電源コードが外せる配置にしてください。

基本操作

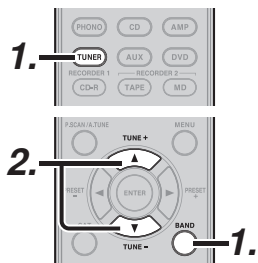
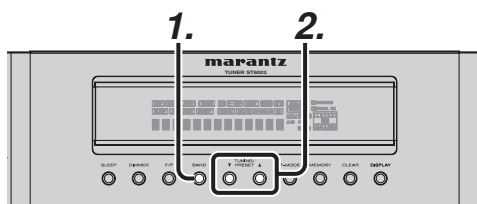
電源を入れる

1. 電源コードをコンセントに差し込んでください。

2. 本機の電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。

- 電源ボタンを押すごとに、本機は電源のONとスタンバイを繰り返します。

3. 接続したアンプの電源スイッチを入れ、本機を接続した入力を選択してください。

オートチューニング

1. フロントパネルの**BAND**ボタンを押して、聴きたいバンド（AMまたはFM）を選択します。

2. フロントパネルの**TUNING/PRESET**ボタン▲ / ▼を1秒以上押すと、オートチューニング機能が開始します。

3. スキャンが始まり、放送局を受信するとスキャンが停止します。

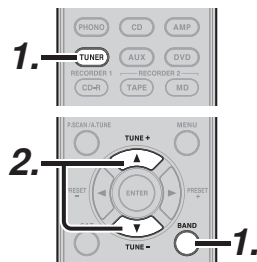
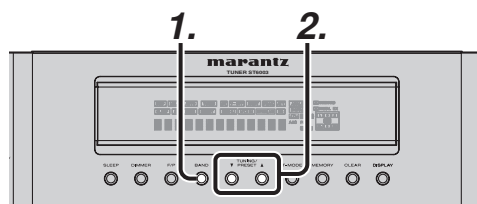
（リモコンを使用）

1. リモコンの**TUNER**ボタンを押し、TUNERモードを選択したあと、**BAND**ボタンを押して、聴きたいバンド（AMまたはFM）を選択します。

2. リモコンの**TUNE＋ー**を1秒以上押してください。

3. スキャンが始まり、放送局を受信するとスキャンが停止します。

聴きたい放送局でチューニングが停止しない場合は、マニュアル（手動）でチューニングしてください。

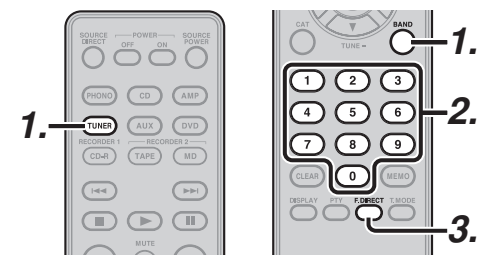
マニュアルチューニング

1. フロントパネルの**BAND**ボタンを押して、聴きたいバンド（AMまたはFM）を選択します。

2. フロントパネルの**TUNING/PRESET**ボタン▲ / ▼を押して、聴きたい放送局を選択します。

（リモコンを使用）

1. リモコンの**TUNER**ボタンを押し、TUNERモードを選択したあと、**BAND**ボタンを押して、聴きたいバンド（AMまたはFM）を選択します。

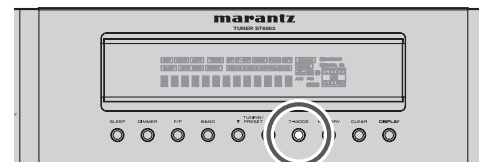
2. リモコンの**TUNE＋ー**を押して、聴きたい放送局にチューニングします。

周波数入力による受信呼出

1. リモコンの**TUNER**ボタンを押し、TUNERモードを選択したあと、**BAND**ボタンを押して、聴きたいバンド（AMまたはFM）を選択します。

2. リモコンの**F.DIRECT**を押します。ディスプレイに「FREQ - - - -」が表示されます。

3. リモコンの数字ボタンで聴きたい放送局の周波数を入力します。

4. その放送局が受信されます。

FM受信モード（オートステレオまたはモノラル）

オートステレオモード時は、インジケーター部に「AUTO」インジケーターが点灯します。
またステレオ放送受信時は、「ST」インジケーターが点灯します。
使用されていない周波数ではノイズはミュートされ、「TUNED」インジケーターと「ST」インジケーターは点灯しません。
受信時、信号が弱いと、ステレオで受信するのが困難な場合があります。このようなときは、フロントパネルまたはリモコンの**T-MODE**ボタンを押します。
FMステレオ放送がモノラルで受信され、ノイズが軽減され、聴きやすくなります。「ST」インジケーター、「AUTO」インジケーターは点灯しません。
オートステレオモードに戻す場合は、フロントパネルまたはリモコンの**T-MODE**ボタンをもう1度押します。

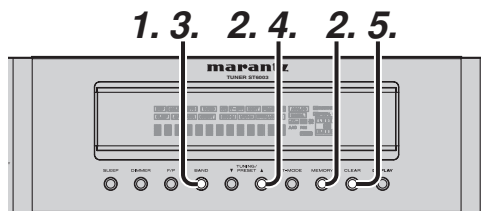
各部の名称
基本接続
基本操作
応用操作
リモコン操作
困ったときは
その他

応用操作

プリセットメモリ

本機では FM/AM の放送局をお好きな順序で 50 局までプリセットできます。
それぞれの放送局について、必要に応じて周波数と受信モードを記憶させることができます。

オートプリセットメモリ

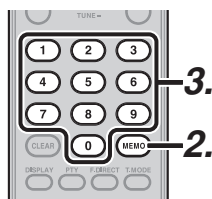
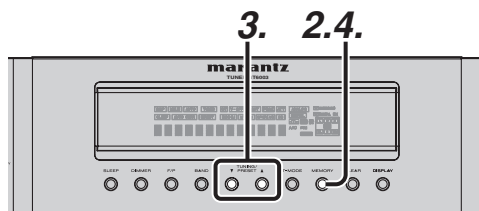
この機能によって、FM バンドと AM バンドを自動的にスキャンして、適切な電波強度のあるすべての放送局をメモリに記録します。

1. FMを選択する場合は、フロントパネルの **BAND** ボタンを押します。
2. **MEMORY** ボタンを押しながら **TUNING/PRESET** ボタン▲を押します。

   インジケーター部に「AUTO PRESET」とインジケーターされ、最も低い周波数からスキャンが開始されます。
3. チューナーが放送局を受信するたびに、スキャンが停止しその放送局を5秒間受信します。

   この間に以下の操作ができます。

   BAND ボタンを押すと、バンドを変更できます。
4. この間にボタンが押されない場合は、現在の放送局がPreset 01に記憶されます。

   現在の放送局をスキップしたい場合は、この間に **TUNING/PRESET** ボタン▲を押します。この放送局はスキップされ、オートプリセットが継続されます。
5. 50個すべてのプリセットメモリが設定されたとき、またはオートスキャンがバンドの上限に達したときは、スキャンは自動的に停止されます。オートプリセットメモリを停止したい場合は、**CLEAR** ボタンを押してください。

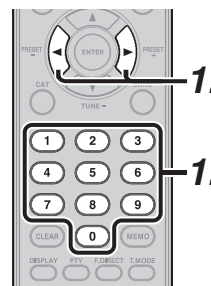
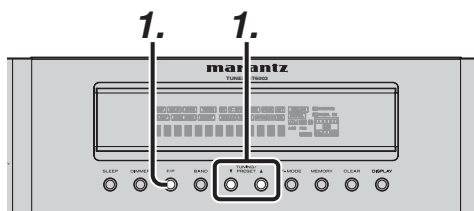
マニュアルプリセットメモリ

1. 設定したい放送局に周波数を合わせます。(「マニュアルチューニング」または「オートチューニング」の項参照)。
2. フロントパネルの **MEMORY** ボタンを押します。インジケーター部で「– –」(プリセット番号)が点滅を始めます。
3. 点滅している間(約5秒間)に **TUNING/PRESET** ボタン▲ / ▼を押して、プリセット番号を選択します。
4. もう1度 **MEMORY** ボタンを押して確定します。インジケーター部の点滅が止まり、放送局がご指定のプリセットメモリに保存されます。

(リモコンで選択する場合)

1. 設定したい放送局に周波数を合わせます。(「マニュアルチューニング」または「オートチューニング」の項参照)。
2. リモコンの **TUNER** ボタンを押し、TUNER モードを選択したあと、リモコンの MEMO ボタンを押します。インジケーター部で「– –」(プリセット番号)が点滅を始めます。
3. 数字ボタンを押して、設定したいプリセット番号を入力します。

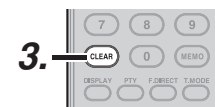
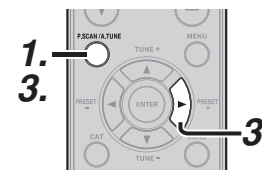
ご注意

一桁の数値(例えば、2)を入力するときは「02」と入力するか「2」と入力して数秒間待ちます。

プリセット局の呼出

1. フロントパネルの **F/P** ボタンを押し、プリセット表示モードにし、**TUNING/PRESET** ボタン▲ / ▼を押して、呼び出したいプリセット局を選択します。

(リモコンで選択する場合)

1. リモコンの **TUNER** ボタンを押し、TUNER モードを選択したあと、**PRESET** **＋－**ボタンを押して呼び出したいプリセット局を選択するか、または数字ボタンで呼び出したいプリセット局を入力します。

プリセット局のスキャン

(リモコンを使用)

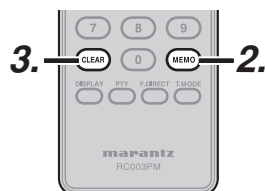
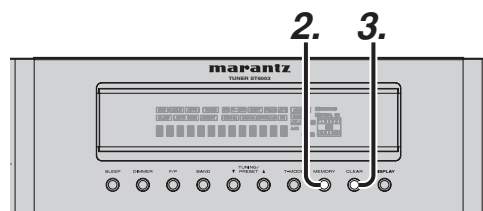
1. リモコンの **TUNER** ボタンを押し、TUNER モードを選択したあと、**P.SCAN** ボタンを押します。

   表示部に「PRESET SCAN」と表示され、小さい番号のプリセット局が最初に呼び出されます。
2. プリセット局は順番に呼び出され(No. 1 → No. 2 → No. 3......)、1局ごとに5秒間表示されます。

   保存したプリセット番号がスキップされることはありません。
3. **PRESET ＋**ボタンを押し続けると、プリセット局を早送りできます。

   聴きたいプリセット局が受信できたら、リモコンの **CLEAR** ボタンまたは **P.SCAN** ボタンを押してプリセット・スキャン操作をキャンセルします。

プリセット局の削除

プリセット局をメモリから削除します。

1. 削除したいプリセット番号を呼び出します。（「プリセット局の呼出」参照）
2. フロントパネルの**MEMORY**ボタンを押すか、またはリモコンの**MEMO**ボタンを押します。
3. 保存されているプリセット番号が表示部に5秒間点滅します。点滅している間に、フロントパネルかリモコンの**CLEAR**ボタンを押します。
4. 表示部に「xx CLEAR」と表示され、指定したプリセット番号が削除されたことが示されます。

ご注意

保存されているプリセット局すべてを削除するには、本体のCLEARボタンとF/Pボタンを同時に2秒間押します。

プリセット局の番号の並びかえ

記憶させた放送局番号が連続していない（例えば以下のように放送局が保存されている）場合

1） 76.5 MHz
2） 78.3 MHz
3） 84.5 MHz
10） 89.5 MHz

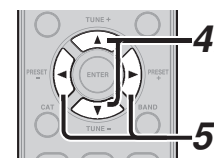
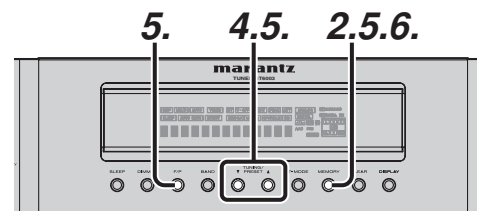
（4から9にはプリセットされた放送局がないので）、プリセット10を4としてプリセットすることができます。

番号をソートするには、**MEMORY**ボタンと**TUNING/PRESET**ボタン▼を同時に押します。

表示部に「PRESET SORT」と表示され、ソートが完了します。

プリセット局名の入力

各プリセット局の名前を、英数字を使用して入力できます。

名前を入力する前に、プリセットメモリ操作によってプリセット局を保存してください。

1. 名前を付けたいプリセット番号を呼び出します。（「プリセット局の呼出」参照）。
2. フロントパネルの**MEMORY**ボタン、またはリモコンのMEMOボタンを3秒以上押します。
3. 放送局名表示の左端が点滅して、文字入力が可能なことを示します。
4. フロントパネルの**TUNING/PRESET**ボタン▲/▼または**TUNE＋－**ボタンを押すと、アルファベットと数字が以下の順序で表示されます。

   A → B → C ... Z → 1 → 2 → 3 ..... 0 → – → ＋ → / → （空白）→ A

   UP →

   ← DOWN

数字ボタン	画面表示
1	A → B → C → 1 → A
2	D → E → F → 2 → D
3	G → H → I → 3 → G
4	J → K → L → 4 → J
5	M → N → O → 5 → M
6	P → Q → R → 6 → P
7	S → T → U → 7 → S
8	V → W → X → 8 → V
9	Y → Z → 空白 → 9 → Y
0	ー → ＋ → / → 0 → ー

5. 入力する最初の文字を選択したら、フロントパネルの**MEMORY**ボタンを押すか、リモコンの**MEMO**ボタンを押します。

   入力が確定したら、次のカラムが点滅を開始します。次のカラムも同じ方法で入力します。

   設定する文字間を移動するには、フロントパネルの**F/P**ボタンを押したあとに**TUNING/PRESET**ボタン▲/▼を押すか、リモコンの**TUNE＋－**ボタンを押します。

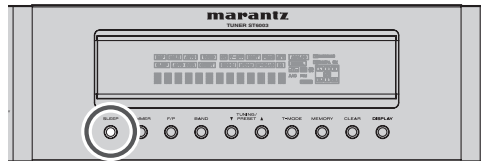
ご注意

空白部分にはスペースを入力してください。

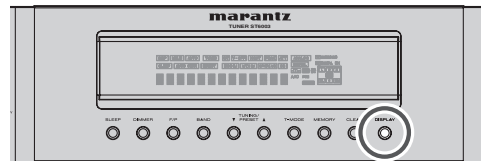
6. 名前を保存するには、フロントパネルの**MEMORY**ボタンおよびリモコンの**MEMO**ボタンを2秒以上押します。

応用操作

その他の操作

スリープ・タイマーの設定

設定した時間になると自動的に電源がスタンバイ状態になる機能です。本体の **SLEEP** ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、スタンバイ状態になるまでの時間が次のように変化します。

フロントパネルの表示部にスリープ時間が数秒間表示され、カウントが表示されます。この表示はスリープ時間が終わるまで表示されます。
設定したスリープ時間が経過すると本機は自動的にスタンバイ状態になります。
スリープ・タイマーが設定されると、表示部に「SLEEP」表示が点灯します。
スリープモードをキャンセルするにはリモコンの **SLEEP** ボタンをもう一度押します。「SLEEP OFF」が表示され、表示部の「SLEEP」表示が消えます。

ディスプレイモード

ステーションネーム表示中に、本体または、リモコンの **DISPLAY** ボタンを押すと、本体表示部に周波数が 2 秒間表示されます。
2 秒後に元のステーションネーム表示に戻ります。

14 MARANTZ

（ステーションネーム表示中）

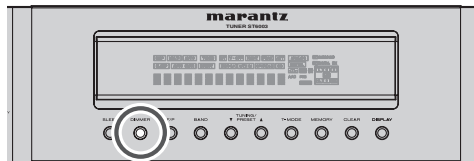
↓（**DISPLAY** ボタン押す）

14 78.30MHz

（周波数表示）

↓ 2 秒間

14 MARANTZ

DIMMER（ディマー）モード

前面パネルの **DIMMER** ボタンをを押すと、表示の明るさが変化します。ボタンを押すたびに下記のとおりに切り替わります。

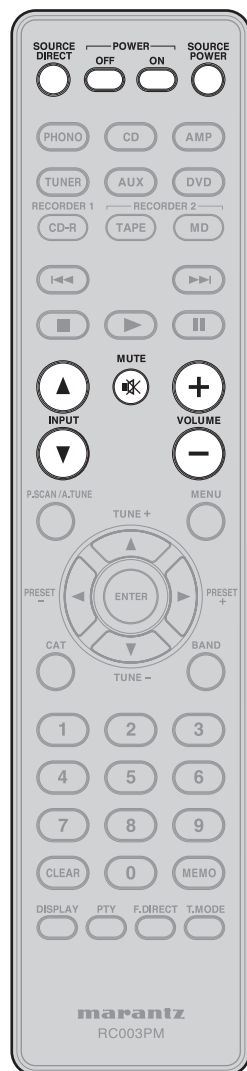
ディスプレイ・オフ状態のとき DISP 表示（ディスプレイ・オフ）が点灯します。

リモコン操作

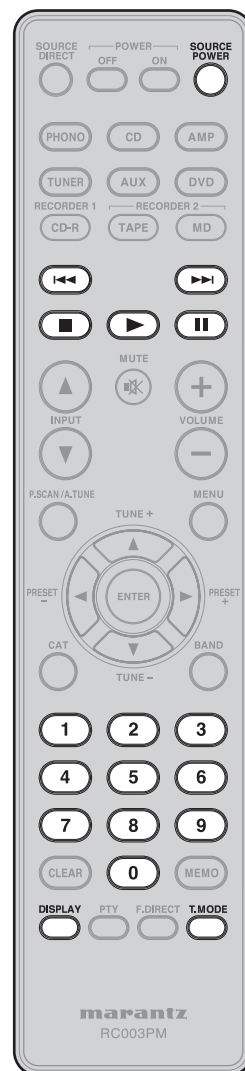
リモコン操作(システムリモコン)

付属リモコンはチューナーだけではなく、マランツ製のアンプや CD などの機器もコントロールすることができるシステムリモコンです。
それぞれの機器をコントロールする場合は必ずファンクションボタンを押し、リモコンを操作する機器のモードにしてから使用してください。

AMP モード

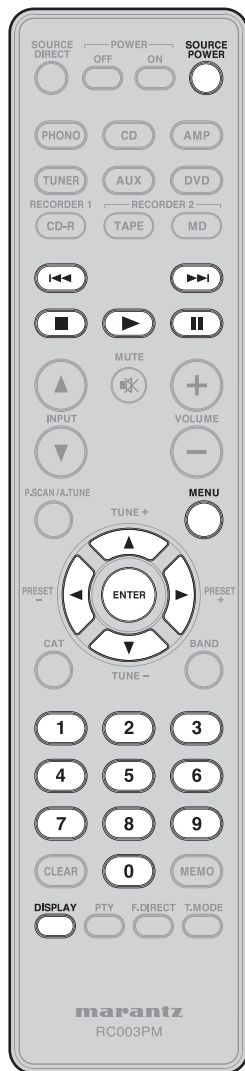
マランツのアンプを操作する場合は、まず AMP ボタンを押しリモコンを AMP モードに設定してから使用してください。

ボタンの名称	機能
SOURCE POWER	アンプの電源オンまたはオフ
POWER ON	アンプの電源オン
POWER OFF	アンプの電源オフ
SOURCE DIRECT	ソースダイレクトモードオンまたはオフ
INPUT ▲▼	インプットソース変更
VOLUME ＋/ー	ボリューム
MUTE	ミュート

CD モード

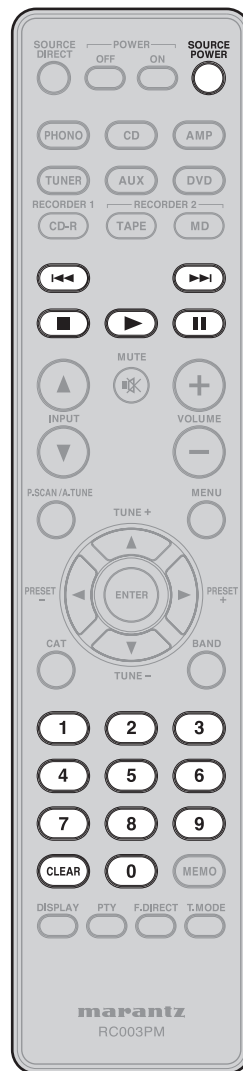
マランツの CD を操作する場合は、まず CD ボタンを押しリモコンを CD モードに設定してから使用してください。

ボタンの名称	機能
SOURCE POWER	CD プレーヤーの電源オンまたはオフ
⏮ / ⏭	トラックスキップ
■	停止
▶	再生
⏸	一時停止
0-9	数字入力
T.MODE	サウンドモード変更

リモコン操作

DVD モード

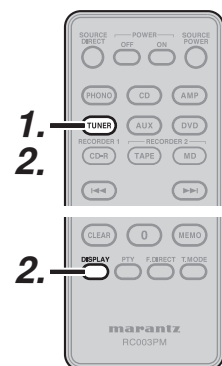
マランツの DVD を操作する場合は、まず DVD ボタンを押しリモコンを DVD モードに設定してから使用してください。

ボタンの名称	機能
SOURCE POWER	DVD プレーヤーの電源オンまたはオフ
⏮ / ⏭	トラックスキップ
■	停止
▶	再生
⏸	一時停止
MENU	メニュー
◀, ▶, ▲, ▼	カーソル移動
ENTER	決定
0-9	数字入力
DISPLAY	ディスク情報の表示

TAPE モード

マランツのカセットデッキを操作する場合は、まず TAPE ボタンを押しリモコンを TAPE モードに設定してから使用してください。

ボタンの名称	機能
SOURCE POWER	カセットデッキの電源オンまたはオフ
⏮ / ⏭	頭出し
■	停止
▶	再生
⏸	一時停止
0-9	数字入力
CLEAR	カウンターリセット

リモコンコード設定

本機と付属のリモコンにはそれぞれ3組のリモコンコードが内蔵されています。そのため最大3台までのST6003を同じ場所でそれぞれ独立してコントロールすることができます。複数台を同時使用する場合は、2台目、3台目のST6003とそのリモコンを以下の手順に従ってリモコンコードを再設定してください。選択したチューナーだけをリモコンで制御できるようになります。

- 工場出荷時は、本体とリモコンはTUNER 1に設定されています。

1. **TUNER 2**

リモコンをTUNER 2に設定するには、リモコンの**TUNER**ボタンを押しながらナンバー2のボタンを5秒以上押し続けます。

TUNER 3

リモコンをTUNER 3に設定するには、リモコンの**TUNER**ボタンを押しながらナンバー3のボタンを5秒以上押し続けます。

2. 本体のリモコンコード設定をリモコンと同じコードに設定します。本体のリモコンコード設定を変更するには、リモコンの**TUNER**ボタンを押しながら**DISPLAY**ボタンを押します。リモコンコード設定（TUNER 1、TUNER 2、またはTUNER 3）が本体の表示部に表示され、本体のリモコンコード設定がリモコンと同じ設定に変更されます。

ご注意

リモコンをTUNER 1に戻すには、リモコンのTUNERボタンを押しながらナンバー1のボタンを5秒以上押し続けます。

困ったときは

困ったときは下記の項目をチェックしてください。意外な操作ミスで故障と思われていることがあります。下記の項目をチェックしても直らない場合は、お近くの営業所、お客様相談センター、または当社サービスセンターにご相談ください。

現象	原因	処置
POWER ON/STANDBY ボタンを押しても電源が入らない。	電源コードがコンセントに入っていない。	電源コードを正しく差し込む。
FM 放送の音がおかしい／ノイズが多い。	アンテナケーブルが正しく接続されていない。	リード線を正しく接続する。
	アンテナが正しい方向に向いていない。	アンテナを正しい方向に向ける。
	電波が弱い。	屋外アンテナを設置する。
AM 放送の音がおかしい／ノイズが多い。	テレビからのノイズまたは、放送局から送られてくる信号に干渉がある。	• テレビを消す。 • ループアンテナの位置を変える。 • 屋外アンテナを設置する。
AM 放送でハムノイズが聞こえる	電源コードを介して送られる信号が電源周波数によって変調している。	• 電源プラグを逆向きに挿入する。 • 屋外アンテナを設置する。
リモコンのボタンを押しても何も作動しない。	電池が切れている。	新しい電池に取り替える。
	リモコンと本体が離れすぎている。	本機に近づいて操作する。
	リモコンと本体の間に障害物がある。	障害物を取り除く。
	違うボタンを押している。	正しいボタンを押す。
	電池が正しい極性（⊕ と ⊖）で入っていない。	正しい極性で電池を入れる。
	本体とリモコンのリモコンコードが異なっている。	本体とリモコンのリモコンコードを同じ設定にする。
	リアパネルの EXTERNAL/INTERNAL スイッチを EXTERNAL に設定している。	EXTERNAL/INTERNAL スイッチを INTERNAL に設定する。

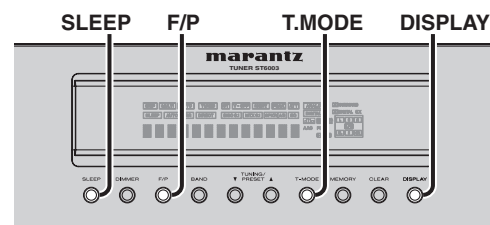
フロントパネル操作ボタンのロック

下記の動作を行うと、リモコンを使った操作のみ有効となり、フロントパネルのボタンでの操作を制限することができます。

ボタンロックの方法

1. フロントパネルの **F/P** ボタンと **T-MODE** ボタンを同時に 3 秒以上押し続けます。
2. 表示部に"F-KEY LOCK!" と表示され、フロントパネルの操作ボタンを受け付けなくなります。

ボタンロックの解除方法

1. 再度フロントパネルの **F/P** ボタンと **T-MODE** ボタンを同時に 3 秒以上押し続けます。
2. 表示部に"F-KEY UNLOCK!"と表示され、ロックが解除されます。

異常動作のときは

本機の前面表示部に異常な表示や誤動作表示などをしている場合、すぐに主電源を切ってください。再度電源を入れても症状が変わらない場合、電源コードを抜いてください。
その後、お買い上げになった販売店もしくはお近くの弊社営業所、または弊社サービスセンターにご相談ください。

メモリバックアップについて

本機の主電源を切った状態でも、設定した各種内容を内部不揮発性メモリーに記憶しております。

初期状態に戻すには（リセット）

「困ったときは」を参考にされても、不具合が解決しない場合は、本機のリセットを試してみてください。
但しリセット行うと、プリセットメモリ等の設定した内容が消去されますことをご了承ください。

1. 電源が入っていることを確認します。
2. 本体の **DISPLAY** ボタンを押しながら、**SLEEP** ボタンを 3 秒以上押します。

本機は一度スタンバイ状態になった後、再度 POWER － ON 状態となり、各種設定された内容が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

その他

仕様・外観寸法図

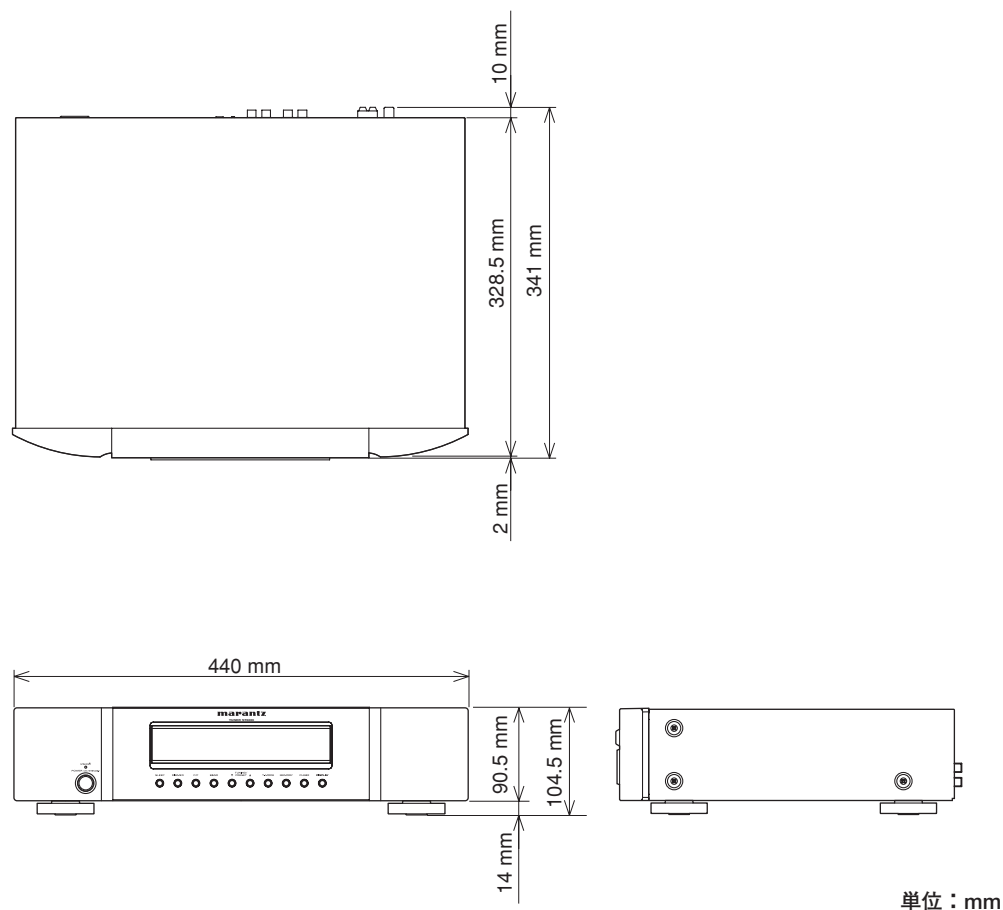
FMチューナー部
- 周波数範囲 .... 76.0 – 90.0 MHz
- 実用感度........................IHF 1.8 µV/16.4 dBf
- S/N比................ モノラル/ステレオ75/70 dB
- 歪み....................モノラル/ステレオ0.2/0.3 %
- ステレオセパレーション............. 1 kHz 45 dB
- 実効選択度 ....± 300 kHz 60 dB
- イメージ妨害比.........................83 MHz 70 dB
- チューナー出力レベル
  .... 1 kHz, ± 75 kHz Dev 800 mV

AMチューナー部
- 周波数範囲 .... 531 – 1602 kHz
- S/N比.. 50dB
- 実用感度.................................. Loop 400mV/m
- 歪み.........................400 Hz, 30 % Mod. 0.5 %
- 実効選択度 .... ± 18 kHz 70 dB

全般
- 所要電力.....................AC 100 V 50 Hz/60 Hz
- 消費電力..9 W
- 質量..4.1 kg

付属品
- リモコン...1
- 単4乾電池..2
- FM室内アンテナ...1
- FMアンテナアダプター...1
- AMループアンテナ 1
- AC電源コード 1
- オーディオ接続コード...1
- リモコン接続コード..1

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

単位：mm

その他

お手入れ

- セットが汚れた時は柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を5〜6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」致します。
3. 保証期間経過後の修理について。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または弊社営業所・サービスセンターに遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“困ったときは”をご参照の上よくお調べください。それでも直らない時は、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）品名　チューナー
2）品番　ST6003
3）シリアルナンバー（製造番号）
4）お買い上げ日　年　月　日
5）故障の状況（できるだけ具体的に）
6）ご住所
7）お名前
8）電話番号

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9：30－12：00　13：00－17：00

（土　日　祝日　当社休日を除く）

修理に関しましては 添付の「 **製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内** 」をご覧ください。

株式会社マランツコンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

http://www.marantz.jp

Printed in China

06/2008　541110124014M　mzh-d